

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年4月5日

事業ID:2023007493

事業名: CHANGE FOR THE BLUE

in 秋田県(CFB・海と日本2023)

団体名:あきた海ごみゼロプロジェクト実行委員会

代表者名:実行委員長 栗津 尚悦 印

TEL:018-826-8545

事業完了日:2024年3月25日

■契約時

事業費総額	:	#REF! 円
自己負担額	:	#REF! 円
助成金額	:	#REF! 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	#REF! 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	#REF! 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	#REF! 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	#REF! 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

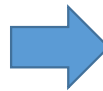
助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。

なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1. 周知啓発 (1)時期:通年 (2)場所:秋田県内(道の駅、公的施設等) (3)内容: a. 漫画「釣りキチ三平」との連携 (a)ごみホットスポットへのオリジナルごみ箱設置 (数ヶ所を巡回) (b)マスコットとごみ拾い (c)釣具店での啓発(ポスター設置、ごみ袋配布、 疑似餌リサイクル) (d)フィッシング大会での海洋ごみ問題啓発 (e)生徒や学生らと連携した調査(海洋ごみ、「ご
--



(2)事業完了時の事業内容(実績)

1. 周知啓発 (1)時期:通年 (2)場所:秋田県内(道の駅、公的施設等) (3)内容: a. 漫画「釣りキチ三平」との連携 (a)ごみホットスポットへのオリジナルごみ箱設置 (2箇所:道の駅秋田港、男鹿マリーナ) (b)マスコットとごみ拾い 12回実施 (c)釣具店での啓発(ポスター設置、ごみ袋配布、 疑似餌リサイクル) 18店舗で連携実施 (d)フィッシング大会での海洋ごみ問題啓発 春・秋で2回実施

み」地層)
b. マラソンイベントでの啓発(プロギング清掃)
c. ラジオと連携した清掃活動団体や海を守る人々
による活動発信

(e)生徒や学生らと連携した調査(海洋ごみ、「ご
み」地層)
現地調査2日・分類作業2日、報告会実施
b. マラソンイベントでの啓発(プロギング清掃)
c. ラジオと連携した清掃活動団体や海を守る人々
による活動発信
毎月1回 計12回実施

(3)成功したこととその要因

釣りキチ三平と共に始まった、あきたの海ごみゼロを目指す活動実績が認められ、矢口プロダクションとの関係性が深まり、今年度着ぐるみ三平くんを制作。三平くんと一緒に様々なイベントへ参加し、家族で楽しんでもらえるような企画を展開したことで、県民に喜んでもらいながらの清掃活動や、「海を守る活動」を広く周知することができた。また、県内の釣りのホットスポット2カ所に三平資源回収BOXを設置できたことや、釣り大会、釣具店と連携することで、海川と密接な「釣り人」への直接啓発もできた。また海洋ごみを使ったルアーキーホルダーのワークショップも子供たちから好評であった。

(4)失敗したこととその要因

ごみ地層調査は、23年8月に秋田県内に甚大な被害をもたらした記録的大雨の影響でごみ地層が崩壊し、予定していた調査が滞ったこともあったが、大雨前に採取したサンプルを入念に使用し、分析調査をまとめ報告会の実施に至った。

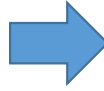
(5)事業内容詳細

イベントでは着ぐるみ三平くんが人気を集め、三平くんの周りには常に人垣ができ、あきたの海ごみゼロ活動の顔として定着、大活躍となった。また釣りキチ三平資源回収BOX、拾い箱、ステッカー、チラシ、ポスターなどを制作し、幅広い層に海洋ごみ削減の啓発活動を実施。釣具店18店舗にポスター掲出、チラシ・ごみ袋を釣り客へ配布。米代川サクラマス大会、子吉川はぜ釣り大会と連携し、直接的に「釣り人」へ啓発活動を実施。また中居釣具店と、釣り場で拾った漁網や、ビニールを使ってのルアー作りのワークショップも開催。秋田犬との清掃活動、100キロマラソンでのプロギングなど地元の強みを活かし、あきたの海ごみゼロ活動の輪を広げた。清掃活動事例発信など ラジオで応援！海ごみゼロを目指して！今できること～を毎月1回全12回放送

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2. 清掃活動
(1)時期:通年
(2)場所:秋田県内5カ所以上(14,000名以上)
(3)内容:イベント(マラソン大会でのプロギング、ドッグウォーキング)等と連携



(2)事業内容の実施(完了)状況

2. 清掃活動
(1)時期:通年
(2)場所:秋田県内5カ所以上(14,000名以上)
◆4/16 門前漁港春の一斉清掃
◆5/21 増田町清掃活動
◆6/18 岩城の海ビーチクリーン活動
◆7/7 秋田エコプラッシュ海水浴場清掃
◆8/4 竿燈おもてなし清掃活動 他

(3)内容:イベント(マラソン大会でのプロギング、ドッグウォーキング)等と連携
◆5/28、10/22 犬の散歩でゴミ拾いCP
◆9/10、17 マラソンおもてなし清掃活動
◆9/24 100kmマラソンプロギング

(3)成功したこととその要因

イベントや清掃活動実施の際は、テレビやラジオ、WEB、SNSなどを活用し広くメディアを使い情報発信に努めた。また多くの団体にお声掛けし、主旨に賛同いただいたことで、多種多様な皆様と、目につく場所で海洋ゴミ問題を啓発することができた。着ぐるみの三平くんが誕生したことで、参加したくなる、楽しみながらのイベントや清掃活動が展開できた。メディアを通して三平くんを目にした県内外の企業や団体からもイベント参加のお声掛けを頂いた。

(4)失敗したこととその要因

特になし

(5)事業内容詳細

清掃活動やイベントには、三平拾い箱や三平くんをできる限り参加させ、親しみやすく、楽しみを創出しながらの海洋ゴミゼロ活動の展開を心掛けた。多種多様な企業、団体と海洋ゴミの問題を共有し、清掃活動を行った。メディア活用で、広く目につく報告をし、実際に行った人以外の方々にも海洋ゴミの問題を啓発した。小中学生など若い世代をはじめ、幼い頃から清掃活動の記憶を植え付け、ふるさとの環境を大切にすることを心がける。

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

3. 映像制作と放映
(1)時期:通年
(2)内容:海洋ゴミを扱った10本以上の映像制作、放映



(2)事業内容の実施(完了)状況

3. 映像制作と放映
(1)時期:通年
(2)内容:海洋ゴミを扱った10本以上の映像制作、放映

①5/12 サクラマスCUPで清掃活動
②5/22 三平お披露目&増田町清掃
③6/8 ふるさと村へ来てたんせおもてなし清掃
④6/9 コスプレde海ゴミゼロ大作戦2023~春~
⑤6/16 犬の散歩でゴミ拾いIN大館
⑥6/18 自然に感謝!サーファー清掃活動
⑦7/2 「ゴミ地層」謎を解く!
⑧8/10 セリオン・男鹿マリーナ資源回収BOX設置
⑨8/18 エコプラッシュ&帝京大準硬式野球部清掃活動

- ⑩9/22 コスプレde海ごみゼロ大作戦2023～秋～
 - ⑪9/25 100%マラソンプログラミングチャレンジ2023
 - ⑫10/9 「ごみ地層」の謎を解く！
 - ⑬10/13 釣りキチ三平50周年展マンガ美術館清掃活動
 - ⑭10/1～12/16 釣り場のマナーアップキャンペーン
 - ⑮11/24 漁網がルアーに！海洋ごみワークショップ
 - ⑯2/3～10 「あきたの海を守ろうアメッコ」販売告知
- 以上16本制作し、ABSテレビで放送

(3)成功したこととその要因

海ごみ削減に協力いただいた皆様をテレビ・web等で映像で紹介することで、関係者から喜ばれたと同時に、素晴らしい活動だと多くの視聴者からお褒めの言葉をいただいた。反響の大きさから多くの方々に海洋ごみの問題を啓発できたと考えている。

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

秋田放送のテレビニュースや情報番組、あきた海ごみゼロプロジェクトのweb、SNSを使い、海洋ごみ削減に取り組む活動を紹介し、市井の方々に海洋ごみの問題を自分事として意識してもらうよう啓発を行った。

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

- 【目標】
1. 清掃活動参加人数 通年:14,000名以上

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	478	文字数チェック	OK
<p>1、釣りキチ三平拾い箱を使ったイベントや、観光、釣りのホットスポットでの三平資源回収BOX設置、三平ステッカーの配布、着ぐるみ三平くんと共に取り組む清掃活動などを使用し、単なる清掃活動で終わることなく、参加しやすく、楽しめ、記憶に残る清掃イベントを実施することで、子供から大人まで幅広い層の方に参加頂き、海洋ごみ問題の関心を深める機会を創出できた。 イベント・清掃活動以外にも、県内道の駅や観光スポット、釣具店との連携により、あきたの海ごみゼロ活動を啓発するポスター、チラシ、のぼり、CFBごみ袋などを至る場所に掲示、配布することで釣りキチ三平と共に海洋ごみ削減の認知度を県内で高めることができた。 また秋田県のキラコンテンツでもある東北三大祭り竿燈まつりや、全国から鉄人ランナーが集う秋田の自然を感じながら山並みを駆け抜ける、北緯40度 秋田内陸リゾートカップ、秋田100%チャレンジマラソン大会、世界的人気の秋田犬と連携したイベントも実施することで、目標である14,000名以上の方々とあきた海ごみゼロを目指す清掃活動の実施に至った。</p>			

3.事業実施によって得られた成果

海洋ごみ問題の啓発・削減を目的とした取り組み(CHANGE FOR THE BLUE)、あきたの海ごみゼロプロジェクトでは、釣り漫画の傑作・釣りキチ三平とタッグを組み、海洋ごみ削減の行動である、各所でのごみ拾い、ポイ捨て、置き捨て禁止等の啓発活動を展開。その活動のマスコットである三平くんが徐々に県民に浸透し、三平を目にすることで、ごみ意識を高め、ごみ削減、抑制を回想してもらうと共に、幅広い世代にごみの削減・分別といった、自分でできるちょっとしたことが、ふるさとの綺麗なあきたの海を守り、繋ぎ、大切と思う意識づけができた。また、沿岸地域よりも海洋ごみに対しての意識が薄い内陸部での活動では、海洋ごみのおよそ8割が、陸や街の内陸からのごみが川を伝い海に流れていることを啓発すると、「知らなかった」「驚いた」「海洋ごみを身近な問題としてとらえる必要がある」といった感想を頂き、県民の意識が変化していると感じている。なお、海洋ごみ関連の動画16本に関しては平均視聴率13.5%、視聴者総数19.2万人、平均視聴者年齢52歳で、放送枠は夕方時間帯を中心に行った。

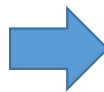
4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

海洋ごみ、マイクロプラスチックという言葉は知っていても、どうすればこれらの問題を解決できるのか、協力したいがきっかけがつかめない県民が多く存在し、環境保全活動がいつどこで行われているかわからない・活動情報が入手できない、参加しにくい雰囲気がある、参加したいとおもう活動がないといった声が届いた。その皆様に、CFB活動を理解してもらうために、イベント告知や、活動報告をテレビやラジオ、WEB、SNS等で展開し、そして県内各所で親しみやすく、参加しやすく、楽しめるイベントを企画する必要性を改めて感じた。若い層はもちろん幅広い世代の参加者を増やし、イベントを通じて海洋ごみ削減の意識を高め、同時にふるさとを愛する気持ちを醸成し、取り組みへの継続性を高めることが有効だと感じた。日本財団が海洋ごみ削減に尽力していることは、徐々に自治体の理解、認識が深まっているが、まだまだ自治体としての取り組みが希薄な為、協力等、働きかけを継続し、集めたごみを処理してもらうなど要請したい。今後も、県民から愛されるコンテンツや、イベント、スポーツとの連携を図り、あきたの海ごみゼロを目指す取り組みの場や機会を拡大させ、一番の問題である「無関心」を払拭して、海洋ごみ削減に向けて身近なところから実際に行動に移す心を醸成したい。

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

【成果物】
・ポスター・チラシ・ステッカー
・報告書
・ウェブサイト



(2)事業完了時の成果物名称

【成果物】
・ポスター ⇒あきたの海ごみゼロへ！
三平ポスター A1 50部
・チラシ ⇒あきたの海ごみゼロへ！
三平チラシ A4 5000部
・ステッカー ⇒あきたの海ごみゼロへ！
三平ステッカー 900枚
・報告書
・ウェブサイト
ABSHP内 ⇒あきた海ごみゼロプロジェクト

(3)未作成となった要因

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載してください。

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/ara_gui_01-1.pdf

Foundation.or.jp/app/uploads/2019/05/gra_gai_01-1.pdf

あきた海ごみゼロプロジェクト

https://fields.canpan.info/report/search?keyword=%E3%81%82%E3%81%8D%E3%81%9F%E6%B5%B7%E3%81%94%E3%81%BF&target_title=on&target_abstract=on&target_organization=on&target_subsidies=on&x=0&y=0